

第1号様式（第7条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 市 長		平成 27年 7月 31日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都江東区木場二丁目18番11号		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 株式会社 大丸松坂屋百貨店 代表取締役社長 好本達也
京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。		
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001	
適用範囲	株式会社 大丸松坂屋百貨店	
導入年月日	平成15年 2月 27日	
認証番号	JUSE-EG-100	
基本方針	私たち大丸松坂屋百貨店は、かけがいのない地球環境を次世代へ残していくための自らの役割と責任を認識し、お客様・お取引先様・地球の皆様と共に“持続可能な社会の実現”に向けた「環境にやさしい企業経営」を積極的に推進します。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギーの推進 エネルギー使用量（原油換算k l） 3.0%減 ・包装材の使用量削減 使用量（t）1.5%減 ・食品リサイクル率の向上 最終処分量 3.8%減 食品リサイクル率 1.5%向上 （目標は2013年度を基準に2016年度の目標数値です。） 	
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギーの推進 エネルギー使用量の把握と共有化、進捗状況による課題分析と対策の実施、設備機器更新、日本百貨店協会と連携した省エネ施策の実施 ・包装材の使用量削減 使用量の把握と共有化、進捗状況による課題分析と対策の実施、従業員取引先を含めた教育 ・食品リサイクル率の向上 処分量の分析、従業員への教育 	
目標を達成するための取組の進捗状況	目標を達成するために上記取組みを実施中。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	当初計画どおりに取り組むことができている。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について1ヶ月に1回確認を行っている。 これまで違反及び行政当局から指摘はなかった。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価及び見直しについて、原則として1年1回検討している。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。